



E-Mail : [taniyama-cc@lagoonne.jp](mailto:taniyama-cc@lagoonne.jp) URL : <https://catholic-tc.jp>

発行人：盛 克志神父 編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美

2023年8月1日  
(毎月1回1日発行)  
カトリック谷山教会  
〒891-0113  
鹿児島市東谷山2-33-13  
TEL・099-268-2084  
FAX・099-284-5738

## 「一つの出会いから」

カトリック谷山教会 主任司祭 ライモンド 盛 克志



以前、長崎の教会で司牧をしていたとき、15歳の米国の少年が約一カ月教会でホーム・ステイをしていた。どうも、日本という国に興味を持ち始め、学校では日本語のクラスも受講していたようだ。

シカゴという街で出会った家族の一人息子だが、最初に出会ったときには5歳の子供であった。その彼を日本の空港で久しぶりに出迎えた時、その成長ぶりには驚いた。一瞬、目を疑った。あの時の少年だろうかと・・・彼も私を見て、そう思ったかもしれない。とっさに次の聖書の言葉を思い出した、『わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長

させてくださったのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。』(コリントの信徒への手紙一 3章 6～7節)

少年は教会に住んで、ミサの時には、侍者としての奉仕もしているので、周りの人から「神学生ですか？」とよく聞かれ、少し戸惑っているようだ。

将来の希望を聞くと、心理学者になりたいと言っている。もし、彼の今の夢が実現するなら、ぜひ、人々の心を理解し、癒すことのできる人にさらに成長してくださるように祈っている。それでも人間は成長に応じて、いろいろな可能性や方向転換も出てくるだろうが、それでも何らの形で人々との関わりの中で自分の使命を果たしていただければ幸いなことだ。

所変われば、品変わるように現実に日本に住んでみると、いろいろな発見や戸惑いがあるようだ。それでもチャレンジ精神を持ってがんばっている。

両親は初めて、遠くまで一人息子を旅立させたようで、期待と不安と寂しさが一杯のようであり、最初のころは毎日のように電話してきた。息子は結構、日本での滞在を楽しんでいるようだが、親は気が気でならないらしい。

時折、電子メールにて彼の日本での生活ぶりを写真添付で送信するが、最近、彼の微笑みを見たことは珍しいと彼の両親はかなり喜んでいる。

思春期の戸惑いや期待の中で、いろいろなものを今の感性をもってたくさん受け入れて欲しいと願っている。人間は比べて生きる生活に土台を置くのではなく、その人がその人らしく、生きていくことに意味があると思う。

あのクラーク博士が言われたように「少年よキリストにあって大志を抱け!」(Boys ,be ambitious in Christ ! ) 彼の更なる成長に期待したい。出会いに感謝。『あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。』(フィリピの信徒への手紙 2章 13節)

## 8月の教会暦

### 10日 聖ラウレンチオ助祭殉教者 (祝日)

3世紀

ラウレンチオは、スペインのラウレンチオに生まれ、信仰深い両親のもとで育った。学校を卒業してから、助祭として教皇シクスト2世や司祭たちに仕え、また教会の財産を管理し、貧しい人びとに救援物資を分け与えた。当時スペインは、ヴァレ

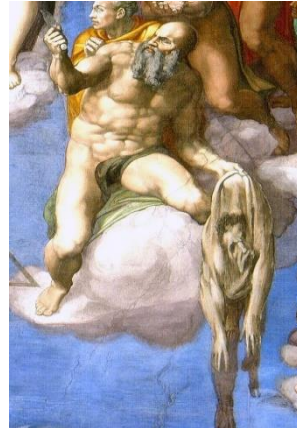


リアヌス皇帝の迫害下にあった。258年に教皇が死刑を宣告されると、彼も教皇のあとを追って死刑場に行き、なぜ自分も殺さないのかと尋ねた。ラウレンチオは、教皇とともに殉教することをいとわなかったのである。このようなことがあって、彼が教会財産の大部分を貧しい人びとに分け与えると、ローマ総督は彼を捕え、教会財産目録の提出を命じた。ラウレンチオが、大勢の貧しい人びとを連れて行き、「この人びとこそ、私たちの財産です」と言ったが、真意を理解できない総督は激怒し、彼を焼き殺した。

彼の墓の上に、聖ラウレンチオ大聖堂が建てられている。彼は、火傷・火災・熱病から守ってくれる保護者であり、また菓子製造人、料理人の守護の聖人とされている。

### 24日 聖バルトロマイ使徒 (祝日)

1世紀



バルトロマイは、イエスの12使徒の1人である。別名、ナタナエルとも呼ばれ、イスラエルのカナに生まれ育った。友人フィリポの勧めでイエスと出会ったとき、イエスは「まことのイスラエル人だ。この人には偽りが無い」(ヨハネ1.47)

とバルトロマイのことを言った。この出会いをきっかけに、彼は弟子としてイエスに従った。

伝承によると、イエスの復活後、彼はインドとアルメニアで宣教し、アルメニアで殉教した。彼の遺骸は、983年にローマに移され、聖堂に安置された。職人の守護の聖人とされている。肖像画は、皮をはがれて殉教したことから、それを象徴して腕にコートをかけているように描かれている。日本では、キリシタン時代にとっても尊敬されていた聖人であり、最初のキリシタン大名大村純忠が洗礼を受けた際に、バルトロマイを守護の聖人に選んだといわれる。

文・女子パウロ会聖人カレンダーより  
画・心のともしびより

## 丹後の教会訪問記(5)

谷山教会 岩崎正幸

その日の徒歩巡礼を終えて、宮津に戻ります。岩滝口から京都丹後鉄道に乗り、次の駅が天橋立、そしてその次が宮津です。観光地、天橋立には目もくれず、今回聖堂巡りに徹したのです。天橋立の松並木は、車窓で見たのみ。本当は高いところから眺め、名物の股のぞきもするのが普通の観光なのですが。宮津駅で下車。午前中に預けた荷物をコインロッカーから取り出し、その日お世話になる宮津教会に向かいます。宮津教会は、聖堂自体が観光地となっていて、市役所のそばということもあり、案内は充実、迷うことはありません。



(宮津教会をバックに細川ガラシャ像)

聖堂の裏、おそらく市の土地で公園になっている所に細川ガラシャの像がありました。京丹後市に、本能寺の変後、明智光秀の娘玉(のちのガラシャ)が幽閉されていた地、味土野があるというのは知っていたのですが、これまた徒歩で訪ねるのは無理ということもわかっていたので、像だけでも出会えたのは慰めとなりました。教会の裏に像があることは知らなかった。教会をバックにガラシャ像の写真を撮ってからいよいよ宮津教会へ。明治時代に建てられた立派な聖堂。現在もミサが行われている日本最古の教会とのこと。しかし、中には入れず。あれ、ここは司祭が常駐しているのに入れないとは、と疑問に思ったのですが、理由はあとでわかります。聖堂に入ることができなければもう司祭館へ。本日泊めていただくことになっているところです。宮津教会はレデンプトル会の神父様方が司牧されているところですが、修道院ではなく司祭館です。レデンプトル会の前にパリミッションの神父様方が司牧されていた流れでそうなっているのだと思います。主任神父様は、ジラル神父様。以前東京でお会いしたことがあり、久しぶりの再会です。食堂で待つこと数十分。その間、神父様はお客様と打ち合わせ。そのお客様というのが、今度聖堂が文化財として指定されることになり、そのための打ち合わせなのでした。そして、いろいろな調査が入るということで、この日は聖堂内に入れなかったのです。さて、応接室での打ち合わせを終えて食堂に戻られた神父様、夕食はある方に頼んであります、とおっしゃられる。普段は自分で準備することもあるけど、よく食事を届けて下さる信徒の方がいらっしゃるの、今日はお願ひしたとのこと。その方の到着を待ちます。私のことをどう説明してくださったのかわかりませんが、ほどなく2人分の食事を届けてくださいました。話を伺うと、京都暁星高校の先生だとのこと。実は私もカトリック校に勤務しています、ということで話がすすみ、翌日またお会いすることにしました。炎天下を歩き続け、疲れていたこともあったので早めに休ませていただきました。明日朝のミサは、聖堂ではなく、ジラル神父様の自室で、ということをお願い、部屋に入りました。巡礼の1日目が終わります。

# 夏

も盛りでうだるような暑さの中で、私たちは早く涼しくなればいいのになあと思いつながらクーラーの効いている部屋に駆け込むのです。そして今度は体が冷えずぎて外に出て温い空気に包まれてホツとしたりするのです。

それで、私たちは毎日神と共に歩む中で神様のことをどのように感じているのでしょうか。暑くてウザい存在でしょうか。寒くて冷淡な方でしょうか。私たちは寒ければ暖かい部屋に暑ければ涼しい部屋に逃げます。



同じように私たちは魂の部分で飢えや渇き、安らかな気持ちというものを感じているのでしょうか。暑ければ暑い寒ければ寒いと敏感に感じる魂の感覚は大切です。今の時期、暑いという感覚を忘れてしまうと熱中症にかかってしまいます。皆

様、お気をつけて暑い日々を乗り越えましょう。

✠神に感謝

ヤコブ・福崎英雄神父

## み言葉の分かち合い

Sr K・安藤 (前回の続き)



福音書は、イエスが弟子たちと共に過ぎ越しの食事(最後の晩餐)の折に「あなた方に平安を与えます」と約束しています。イエスは、弟子たちの足を洗い、弟子たちをこの上なく愛し抜かれた。

受難、死から復活なさったイエスは、嚴重に家の戸を閉め、しっかりと鍵をかけて恐れおののいている弟子たちに現れ”平和があるように”と。弟子たちはイエスを見て喜んだが、でもまだ信じられず、幽霊を見ているのだと不思議がついている弟子たちに「ここに何か食べ物があるか(ルカ24-41)と言われ弟子たちが差し出す魚一切れを弟子たちの目の前で召し上がられ、”幽霊ではない”と、弟子たちの心に安心、平安を与えようとしてしっかりと寄り添って下さる心細やかなイエスさまです。

(続く)

## レディンフトール会聖人

## 聖アルフォンソ(リゴリ) 司教教会博士

記念日(8月1日)



1696年9月～1787年8月

一六九六年、ナポリに生まれる。教会法と市民法の博士となった後、司祭となり、レディンフトール会を設立。民衆のキリスト教的生活を育てるために説教に力を注ぎ、書物を執筆した。特に倫理進学についての著作は優れており、倫理神学の大家とされている。サンタガタ・デイ・ゴージェイの司教に選ばれたが、間もなく司教職を辞し、一七八七年、中部イタリアのカンパニヤ地方バガリーニにあるレディンフトール会修道院で死去された。(「毎日の読書」より)

著書・日本語に翻訳されたものに「完徳のしおり」「聖体訪問」などがある。「倫理神学」は、不朽の名著として知られている。(毎日のミサより)

## 消火訓練、通報訓練



写真{3枚}・平田龍二氏提供

7月16日(日) 消防署員の指導による消火訓練、通報訓練が実施されました。

一四～一五名参加し、交代で消火器の使い方(消火訓練)や大きな声で火災が発生したことを回りの人に知らせ、一一九番通報をしよう(通報訓練)が行われました。

実際に火事を出してしまえば、パニックになり、慌ててしまうでしょう。落ち着いて行動できるように、訓練は、必要だと思いました。(報告 広報)



模範を示す福崎神父様



\*家庭での火災は、最近ではガスだけではなく、電気機器やコンロによる出火が多くなっている。火が出ないからと言って安心ではない。また、コンセントの回りにゴミがたまり、積み重なると炭になり、出火原因となるので、掃除をしましょう。

\*消火器が置いてある場所も確認しておきましょう。(消防署員の話)

令和5年(2023年)谷山教会08月の予定と祝日表(08月01日~08月31日)

日 時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	火	記念日 10:00 聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士 アルフォンソ祭ミサ *6:30 朝ミサなし			
2日	水	19:00 召命ミサ			
3日	木	6:30 朝ミサ			
4日	金	記念日 10:00 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭 初金ミサ			
5日	土	19:00 第18主日のミサ/聖マリア教会の献堂		⑥⑦	教会
6日	日	祝日 6:30&9:00 主の変容 *日本カトリック平和旬間(6~15日まで) 第18主日のミサ	⑥⑦		
7日	月	6:30 朝ミサ			
8日	火	記念日 6:30 聖ドミニコ司祭 朝ミサ			
9日	水	19:00 召命ミサ			
10日	木	祝日 6:30 聖ラウレンチオ助祭殉教者 朝ミサ			
11日	金	記念日 6:30 聖クララおとめ 朝ミサ			
12日	土	19:00 年間第19主日のミサ/聖母の土曜日		⑧⑨	教会
13日	日	6:30&9:00 年間第19主日(初盆の追悼ミサ)	⑧⑨		
14日	月	記念日 6:30 聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者 朝ミサ			
15日	火	祭日 10:00 聖母の被昇天 聖母の被昇天ミサ谷山教会 *6:30 朝ミサなし	キリスト教伝来記念ミサ(8/15(火)) *16:00~16:20 司教メッセージ&祈り 祇園之洲公園 ザビエル上陸記念碑にて		
16日	水	19:00 召命ミサ	*18:00~ 司教ミサ		
17日	木	6:30 朝ミサ			
18日	金	6:30 朝ミサ			
19日	土	19:00 年間第20主日のミサ/聖母の土曜日		⑩	教会
20日	日	6:30&9:00 年間第20主日 *コミチウム13:30~	⑩		
21日	月	記念日 6:30 聖ピオ十世教皇 朝ミサ			
22日	火	記念日 6:30 天の元后聖マリア 朝ミサ			
23日	水	19:00 召命ミサ			
24日	木	祝日 6:30 聖パルトロマイ使徒 朝ミサ			
25日	金	*6:30 朝ミサなし			
26日	土	*19:00 年間21主日のミサなし		①	教会
27日	日	6:30&9:00 年間21主日	①		
28日	月	記念日 6:30 聖アウグスチヌス司教教会博士 朝ミサ			
29日	火	記念日 6:30 洗礼者聖ヨハネの殉教 朝ミサ			
30日	水	19:00 召命ミサ			
31日	木	6:30 朝ミサ			

今月の行事当番班は、8・9班です。

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00~	1, 8, 15, 22, 29日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 13:30~15:00	2, 9, 16, 23, 30日
聖書と教理-Ⅱ	毎週金曜日の聖書と教理は、	夏休みのためありません。

【お知らせ・その他】 7/16(日)司牧評議会より  
\*草取りは9月下旬から10月を予定しています。

\*8月の役員会,司牧評議会は、お休みです。